

◆交流のひろば 第46回護憲大会・長野県企画

映画上映『花はどこへいった』

2009年11月2日(月)
長野市生涯学習センター4F

- 13:30 受付
- 14:00 開会あいさつ/司会 県実行委員会/宮下 洋
- 14:05 主催者あいさつ 県実行委員会/佐藤 正幸
- 14:10 映画『花はどこへいった』上映(DVD/71分)
- 15:20 坂田雅子監督講演
- 15:50 質疑応答
- 16:10 市民団体アピール(本道多加子さん/上映運動の経験など)
- 16:15 閉会あいさつ 県実行委員会/宮下 洋

坂田 雅子(さかた まさこ)さんの紹介

1948年長野県須坂市生まれ。
70年にグレッグ・デイビスと出会い、結婚。95年に76年から勤める、写真通信社インペリアル・プレス社(東京)社長就任。98年にIPJを設立し社長となる。2003年、グレッグの死をきっかけに、枯葉剤被害についての映画制作を決意し、04年から06年、ベトナムと米国で、枯葉剤の被害者やその家族、ベトナム帰還兵、科学者などにインタビュー取材を行なう。
2007年「花はどこへいった」を監督、製作。
同作品はパリの国際環境映画祭・審査員特別賞などを受賞。

ズク出せ!
護憲派。

主催:第46回護憲大会長野県実行委員会/市民団体グループ

私の選択基準

8・30衆院選の座標軸

衆院選が近づいて、各政党のマニフェスト(政権公約)を新聞などで比べて読んでいる。雇用の問題、年金、子育て支援。どれもこれも身近な課題が強調されている。しかし、「それも大事、と思うけれど、『うちの水のほろが甘いぞ』と言われているようにしか聞こえてこないのはなぜ?」と首をかしげる。

ベトナム戦争で米軍が散布した枯れ葉剤被害の影響が今も続いている現状を取材した経験から、「自分の殻から一歩でも踏み出して、社会のなかで、世界の広がりのおかげで、どうやって平和や人権を実現するか」という長期的なビジョンがなくはないかと思う。世界のために、未来のために、何をしようとしているか。それが政治に問われている」と語る。

社会の現実や世界で起きている戦争、貧困の問題などにもとど強い関心があったわけではない。大学に入った1967(昭和42)年には、ベトナム戦争が続いていて学生運動も盛んだったが、「人生の意味とは何なのかと日々鬱々と考え

ポイント

日本だけでなく、世界の人びとが支え合って生きられるビジョンこそが大切だ

4

坂田 雅子さん

映像作家

ていて、社会や世界のことに関心を持つことはなかった。しかし、夫が枯れ葉剤の影響が疑われる肝臓がんで亡くなったと振り返る。その後、「政治は一部の有力者が入った者がやっている」ようにも思えて、選挙の投票も時間を潰すまで行かないのはあまりしてこなかったという。

く考えることはなかった。しかし、夫が枯れ葉剤の影響が疑われる肝臓がんで亡くなり、突如動かされるようにベトナムに渡った。そこで、最終から30年を経て「戦争はまだ終わっていない」「現実を目にした」。

世界と未来のために

平和・人権長期展望を



さかた・まきこ 1948年、須賀市生まれ。京大文学部卒。写真通信社インベリアル・プレス(東京)社長などを歴任。今も続くベトナムの枯れ葉剤被害を追った映画『花はどこへいった』(08年)を監督、製作。同作品は、ハリの国際環境映画祭・審査員特別賞を受賞した。群馬県みなかみ町在住。

ベトナムの枯れ葉剤被害の現実を追ったドキュメンタリー映画『花はどこへいった』はこれまで、長野や松本をはじめ全国の30カ所以上で上映されてきた。その多くの運営を市民団体が担ってくれた。遠いベトナムのことのために行動したいという人たちがこれほどいると知ったのは、私にとって新たな発見だった。小さくてもその力が集まって、社会のベクトルの一部になり、少しでも方向を変えて行ければと期待する。

だが、海上自衛隊によるインド洋での給油活動や、政府の有識者会議で武器輸出解禁の論議が進められていく現実を見ていると、「平和を願う草の根の思いは政治の中枢に届いていない」と強く感じる。市民の声を吸収し、生かしてくれる人を選ぶんだらよいのか。「今の政治家からは、自分なせ、何のために、政治を志したのかがなかなか伝わってこない。自分はどうな人たちの痛みを知っていて、誰のために立ち上がったのか、候補者には語る責任がある、と思う」

つい最近もベトナムを訪れた。「貧しくてもエネルギーに満ちている国」とあらためて感じた。それに対し「日本はものはあふれていても、目的を失い、元気を失っているように見える」。気にかかるとは日本での自殺の多さだ。

「経済的な悩みとか健康の不安などいろいろな原因があると思うけれど、この社会で、この世界で、生きていきたいという希望を持たなくさせている仕組みを委ね、互いにもっと肯定し合い、支え合っている社会をつくりたい。そこに一歩でも近づいていくために、私は一票を投じた」と思っています。

(聞き手・西島 拓也)
(今回は18日に掲載します)

おしらせ

上映会場にて、『花はどこへいった』DVD、パンフレットの販売を行いません。是非、お求めください。(数量限定)

■DVD 3192円・・・8枚 ■パンフレット 640円・・・20冊